

大阪上本町駅(近鉄難波線・大阪線)⑤

大阪中が泣いた! 名妓・夕霧の墓へ

谷町九丁目駅(地下鉄谷町線・千日前線) 四天王寺前夕陽ヶ丘駅(地下鉄谷町線)

「大阪あそ歩マップ集」
その2 No.084

近鉄大阪上本町駅

①生國魂神社

生國魂神社は、神武天皇が九州より難波津に上陸した際、現在の大阪城付近(上町台地の北端)に生島大神、足島大神を祀ったのが創祀と伝えられ、宮中の例祭にあたって神祇官から幣帛が授けられた最高の待遇を受けた神社でした。「生國魂造」といわれる、ほかに例のない建築様式でも知られています。

②大蓮寺(吉本芸人の墓)

天文19年(1550)に足利將軍家の大坂祈願所として創建。吉本興業の創始者・吉本せいの遺志を継いで、実娘が平成5年(1993)、吉本芸人の墓を建立しています。

③応典院

地域の教育文化振興に関する活動に特化した寺院です。円形型ホール仕様の本堂をはじめ、セミナールームや展示空間を備えており、演劇や講演会などさまざまな活動に用いられています。

④夕霧太夫の墓(浄国寺)

夕霧太夫は本名をお照といい、京都・東山の生まれで嶋原の扇屋に抱えられていましたが、扇屋が大坂新町に引っ越したときに夕霧も移転してきました。「神代このかた、また類なき御傾城の鏡」(西鶴『好色一代男』)と称されるほどの美形で、吉原の高尾、嶋原の吉野と並んで天下の三大名妓といわれましたが、大坂へ来て6年後、延宝6年(1678)の正月6日に病に倒れて、25歳の短い一生を終えました。亡くなったときは大坂中が悲しんだ

といわれ、鬼貫が「この塚は柳なくとも あわれなり」という句を送り、歌舞伎では坂田藤十郎が『夕霧名残の正月』を舞台にかけ、33回忌には近松門左衛門が浄瑠璃『夕霧阿波鳴渡』を書き、その名を不朽のものとなりました。



⑤薄田隼人墓(増福寺)

薄田隼人は、大坂城一の怪力の持ち主であったと伝えられ、後年、ヒヒや山賊を退治した話で有名な岩見重太郎のモデルです。大坂冬の陣(1614)で奮闘するも、遊郭に通っている最中に砦を徳川方に陥落されるという失態を犯したことで有名です。

⑥竹田出雲墓(清蓮寺)

「竹本座」の経営者・竹田出雲と

一族の墓があります。近松や義太夫が病死した後は自ら脚本も書いて、『仮名手本忠臣蔵』『菅原伝授手習鑑』などの名作を残しました。

⑦上島鬼貫墓(鳳林寺)

上島鬼貫は伊丹の醸造家に生まれ、25歳で大坂に出て三池藩などに経済担当として仕えました。「東の芭蕉、西の鬼貫」と併称されたほどの俳人でしたが、あくまで孤高を堅持し、門人を持つことはありませんでした。



地下鉄四天王寺前夕陽ヶ丘駅

